



2019年4月1日

株式会社スカパーJSAT ホールディングス
スカパーJSAT 株式会社

社長就任のご挨拶

本日、2019年4月1日付で株式会社スカパーJSAT ホールディングス代表取締役社長及びスカパーJSAT 株式会社代表取締役 執行役員社長に米倉英一が就任しました。

就任にあたり、米倉よりご挨拶をさせていただきます。

日頃より当社グループの事業活動にご理解・ご支援を賜り御礼申し上げます。

本日付で、株式会社スカパーJSAT ホールディングス代表取締役社長及びスカパーJSAT 株式会社代表取締役 執行役員社長に就任いたしました米倉英一でございます。

当社グループを取り巻く環境は、デジタル技術の革新を背景にした様々なプラットフォームの出現により急激に変化し、お客様のニーズもかつてないスピードで多様化・高度化しております。私は当社グループのビジネスモデルを進展させ、お客様や社会の課題を解決するための取り組みを進めてまいりたいと考えております。そのために、まずは宇宙事業もメディア事業も国内市場の足場を固め、当社グループの基礎収益力を向上させた上で、アジアを中心に事業を広げてまいります。

宇宙事業は、自然災害等に対する社会的セキュリティの提供、国の安全保障への貢献、ニーズが高まる航空機・船舶向けインターネット回線提供など、皆様の安心や快適を支える社会インフラとして重要な役割を果たしています。しかし従来通りの衛星通信サービスだけでは市場は拡大しないと考えます。先端技術や新しいアイデアをもつ持つ国内外のパートナーと組むことにより、我々の通信衛星インフラの稼働率を向上させ、新しい価値を提供する必要があります。また、新たな事業領域として、例えばドローンや将来的な成層圏プラットフォームと通信衛星を組み合わせた情報分析やリアルタイムでの衛星画像提供サービスなどの新たなサービスを提供してまいります。

メディア事業は、従来の衛星放送サービス「スカパー！」の充実だけでなく、お客様が本当に求める価値を提供していく必要があります。そのためには異業種・異分野のパートナーとも積極的に連携し、例えばご契約者の中心となっておられるミドル層のお客様向けに、健康や生活面など新しい切り口でサービスを展開していきたいと考えております。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて4K8Kの大型テレビが家庭に普及してくることが予測されますが、当社グループは、それを単に高画質のテレビパネルとしてではなく、5GやAI、IoTなどのデジタル技術を取り込みながら、生活をより豊かにするインタラクティブなサービスを提供するツールとして活用してまいります。

グループ全体においては、より一層の経営の効率化と働き方改革を進めることによって、生産性の向上を目指します。従業員、お取引先、株主様、地域社会など全てのステークホルダーに向き合いながら、会社の成長、変革に挑戦し、スカパーJSATグループの企業価値の向上に全力を尽くす所存です。

引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社スカパーJSAT ホールディングス 代表取締役社長
スカパーJSAT 株式会社 代表取締役 執行役員社長
米倉 英一

以上